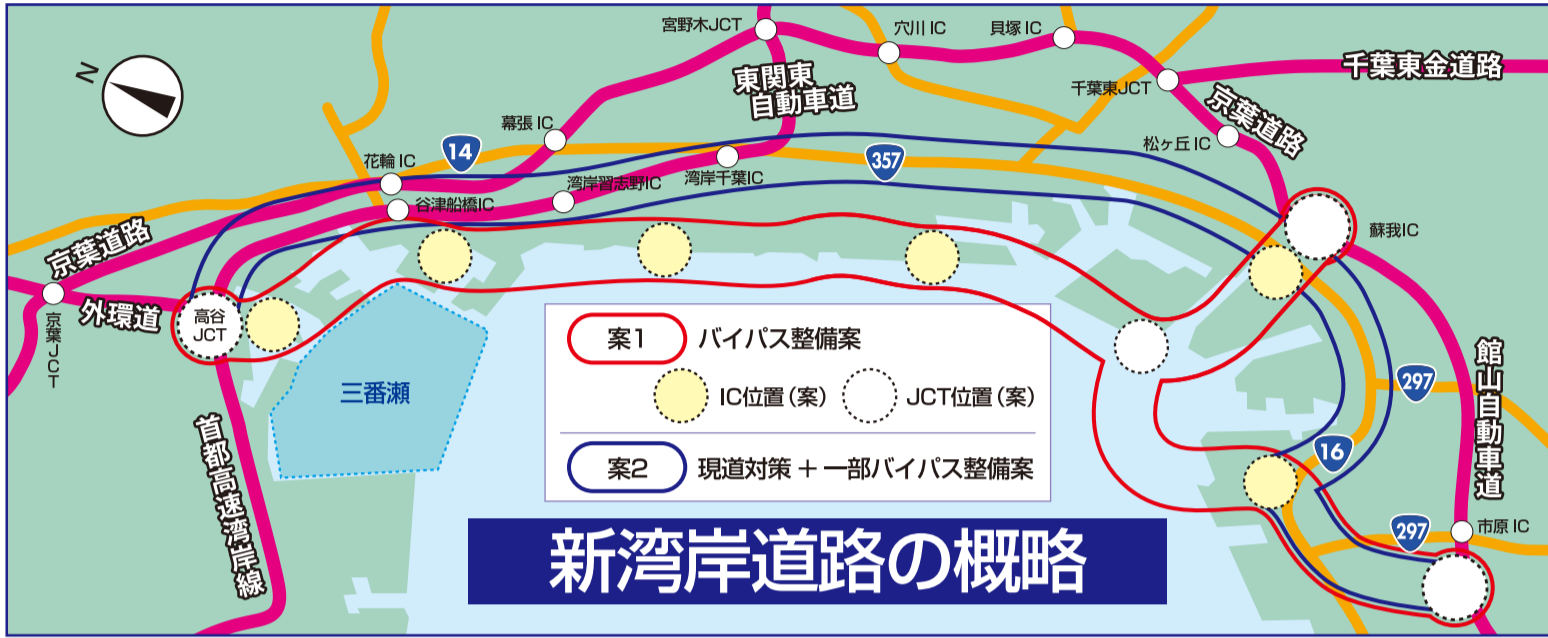


“ふるさとちば”のための政策推進を

江野澤 よしかつ えのさわ吉克県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



新湾岸道路に2ルート案

バイパス整備案と既存道路利用案

円滑な交通システム実現のために、県内の道路網整備に力を注いでいる江野澤吉克県議が着目しているのが、「新湾岸道路」です。千葉県と東京都、神奈川県を東京湾沿いに結ぶ現在の湾岸道路はしばしば激しい渋滞が発生し、人々の移動や物流に支障をきたしています。そこで浮上したのが「新湾岸道路構想」です。

大学教授らによる「新湾岸道路有識者委員会」で検討されていますが、国土交通省千葉国道事務所は5月28日に都内で開催された第2回の「新湾岸道路有識者委員会」で、2つのルート案を公表しました。今後、この2つのルート案についての検討が進められます。

新湾岸道路有識者委員会に提示

「新湾岸道路」は、今後も交通需要の増大が見込まれる東京湾岸沿いの道路渋滞を緩和するために構想されました。東京外郭環状道路の高谷JCTから館山自動車道路の蘇我ICならびに市原ICを結ぶ高規格道路として調査中です。

有識者委員会に示されたルート案は、高谷JCTから千葉市の幕張や稲毛の海岸線を通り、蘇我ICや市原ICを結ぶ「バイパス整備案」と、国道357号や国道16号を拡幅し、一部新たに道路を新設して、高谷JCTから蘇我ICや市原ICに連結する「現道対策+バイパス整備案」の2案です。

「新湾岸道路」のバイパス整備案では、船橋市から習志野市の沿岸部を南下する形にして、三番瀬の横断を回避したルート案になっています。

それぞれのルート案における道路の構造案も示されました。「バイパス整備案」では高架構造を主体とする案と地下構造を主体とする案の2案が提示されました。既存の道路を活用する「現道+一部バイパス案」では、国道の両側に新湾岸道路の上下線を付け加える方式が提案されました。

高架構造の「バイパス整備」を行った際の事業費として約1兆円、地下構造事業費が約2兆円、「現道+一部バイパス案」の事業費は約0.5兆円と見積もられています。

「新湾岸道路」が実現すれば京葉道路、東関東自動車道に次ぐ東京-千葉間の「第3のルート」として、交通や物流に大きな役割を果たし、国道14号などの周辺道路の渋滞緩和が期待されます。

熊谷知事や沿線の市長らによる新湾岸道路整備促進期成同盟会は、「新湾岸道路」は湾岸エリアの渋滞解消や物流・経済の活性化、埠頭再編整備が進められている千葉港の機能を生かしたモデルシフトの推進のためにも重要な道路として、国土交通省に計画推進の陳情を行いました。

圏央道かずさICの整備要望



国土交通省に圏央道の陳情 (左から3人目が江野澤吉克県議)

袖ヶ浦市蔵波から野田まで道路拡幅

千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟の一行が国土交通省などを訪れ、袖ヶ浦市に計画されている圏央道「かずさインターチェンジ」の早期整備などを陳情しました。

同議員連盟幹事の江野澤県議は東日本高速道路株式会社社長の担当者に「できるだけ早く作っていただきたい」と要望しました。

県道長浦上総線の袖ヶ浦市蔵波から野田までの1.3キロ区間でも拡幅事業が行われています。優先的に整備しているカーブが連続した見通しの悪い区間において、約8割の用地を取得できていると、令和7年度に、取得できた箇所の一部で道路改良工事を行うとのこと。

袖ヶ浦中島木更津線バイパスで混雑緩和

幅員が狭く、歩道もなかった県道長浦上総線の袖ヶ浦市阿部地先で、歩行者と車の安全を確保するために、富川橋南側交差点から広域農道までの0.3キロ区間で道路拡幅工事が行われています。

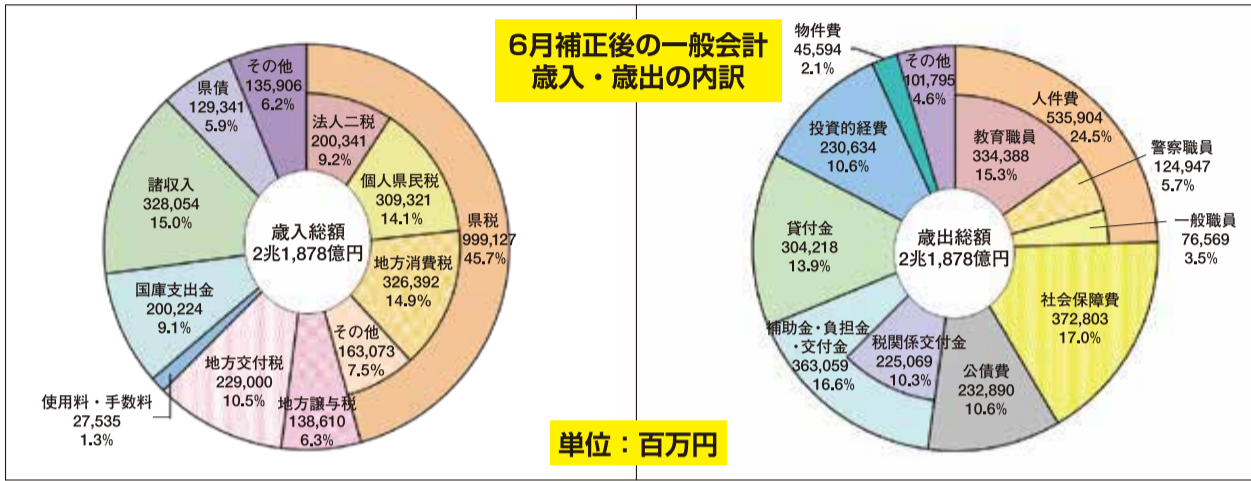
約4割の用地を取得できていると、取得できた箇所の一部で歩道工事が進められてきました。

6月までに浮戸川を跨ぐ橋梁下部工事が全て完了し、現在は、橋梁上部工事が進められています。

一般会計で総額836億4700万円の6月補正予算案が6月25日の県議会最終日に可決され、成立しました。3月の知事選前に「骨格予算」として編成された当初予算に、新規事業を中心に肉付けされました。産業振興や道路ネットワークの整備、教育環境の充実に力点が置かれ、補正後の一般会計予算総額は2兆1877億9700万円になりました。補正予算に盛り込まれた事業を紹介します。(かっこ内は予算額)

産業、道路、教育に重点

県予算 836億4700万円を補正



○：産業の振興
 ・スタートアップ企業と大企業、投資家などとの交流会を開催し、企業等の成長を促すコミュニティの形成に

取り組みます。
 ・中小企業の人材確保に向けた奨学金返還支援事業(2000万円)
 ・働く若者、現役世代応援事業(5058万5千円)
 ・働く若者のキャリアアップなどを支援するために、SNSによる相談窓口を開設し、交流会を開催。また、就職氷河期世代を含むミドル世代の就労を支援します。
 ・千葉の自然を活用した観光地域づくり促進事業(2億5千万円)
 ・新規就農者等に対する資金支援(1億3850万円、当初予算と合わせて7億8960万4千円)
 ・新規就農者(親からの事業継承を含む)がスムーズに経営を継承・発展できるように、円滑な経営移譲に向けた取り組みや機械・施設等の導入などを支援する。
 ・農業参入促進農地整備モデル事業(1000万円)
 ・農業参入を希望する企業による遊休農地等の整備に必要な経費を補助する市町村に対し、補助した額の一部を県が補助する。
 ・千葉県有害鳥獣捕獲協力隊事業(1千万円、当初予算と合わせて1639万8千円)
 ・家畜伝染病対策緊急強化事業(7千万円)
 ・養鶏業者が取り組む先進的な発生予防策を支援する。
 ・漁業の担い手確保・育成総合対策事業(7185万4千円、当初予算と合わせて2億4457万4千円)

独立しようという漁業者を対象に独立に必要な漁船・漁具のリース方式による導入支援や漁業就業希望者の漁業就業体験などを実施する。
 ・水産系高校魅力化アドバタイザー事業(1100万円)
 ・県内水産業の担い手を育成するため、水産系高校の魅力向上や遠隔地からの生徒受け入れにあたり、有効な対策の提案等を行う専門人材を配置する。
 ・「おいしい!千葉の農林水産物」プロモーション事業(1100万円、当初予算と合わせて1億5115万2千円)
 ・国際園芸博覧会出展事業(3千万円)
 2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会への出展準備をする。
 ○：社会資本の充実・防災
 ・道路ネットワーク事業(249億2652万4千円、当初予算と合わせて754億8676万円)
 ・北千葉道路の橋梁・道路改良工事などを進める。また、長生グリーンラインの用地測量や設計を実施する。圏央道では大栄JCT、松尾横芝IC間の改良工事を行う。
 ・河川・海岸・砂防事業(145億4405万円、当初予算と合わせて359億8504万2千円)
 ・住宅・建築物の耐震化サポート事業(1千万円、当初予算と合わせて1億円)
 ・事前復興まちづくり計画策定支援事業(債務負担行為2400万円)

・県庁舎等再整備事業(3500万円)
 ○：教育、こども・若者施策の充実
 ・私立学校経常費補助(208億2599万2千円、当初予算と合わせて314億6937万7千円)
 ・私立高等学校等就学支援事業28億3300万円、当初予算と合わせて125億8300万円)
 ・公立高等学校等就学支援事業(25億2800万円、当初予算と合わせて104億9400万円)
 ・高校生の負担軽減のために授業料相当額またはその一部を支給する。
 ・電子黒板導入事業(1億2210万円)
 ・不登校児童生徒の教育機会確保事業(5537万6千円、当初予算と合わせて6104万6千円)
 ・不登校児童の学びの場の充実を図るためにフリースクールに補助。校内教育支援センターを整備する市町村に対して国と県が助成。
 ・ウェルビーイング・ハイスクール設置モデル事業(1500万円)
 ・ネグレクトなどの問題を抱える生徒に、県・市の福祉部門が支援する体制を構築。
 ・日本語の指導を含むきめ細かな支援推進事業(2130万円、当初と合わせて6986万3千円)
 ・外国人児童生徒に対して、県立学校で初期指導体制を研究する。市町村立中学校において、オンラインによる日本語指導のモデル事業を実施する。
 ・流山地区特別支援学校整備事業(債務負担行為2億6千万円)
 ・若者の仲間づくり支援事業(7200万円)
 ・だれでも気軽に参加しやすい仲間づくり・出会いの場となるイベントを企業等と連携して創出。
 ・こどもの放課後体験活動支援事業(1千万円)
 ・放課後児童クラブ等の質の向上を図る。
 ・ちば家庭養育強化事業(1億円)
 ・里親委託に係る業務改善事業(債務負担行為1億1200万円)
 ・ICTを活用した児童相談所業務改善事業(1億5千万円、当初予算と合わせて1億7891万7千円)

○：医療・福祉の充実
 ・在宅医療従事者等安全確保対策事業(3800万円)
 ・若手医師地域定着促進事業(400万円)
 ・介護事業所における業務改善支援事業(1千万円、当初予算と合わせて4400万円)
 ・依存症対策地域支援事業(420万円、当初予算と合わせて1220万円)
 ・アルコールや薬物、ギャンブル等依存症を予防するための普及活動強化などを行う。
 ・農福連携推進事業(300万円、当初予算と合わせて590万円)
 ・農業・福祉・企業・教育な

●袖ヶ浦市と県政に関するご要望をお寄せください。

えのさわ吉克 県事務所
 〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9
 TEL. 0438-75-8881
 FAX. 0438-75-8882

○：環境対策の推進、文化・スポーツ振興
 ・事業者向け次世代自動車導入促進事業(2200万円、当初予算と合わせて1億1500万円)
 ・観光・宿泊施設の公共充電設備設置に対して助成する。
 ・次世代型太陽電池率先導入モデル事業(5千万円)
 ・次世代型太陽電池として期待されているペロブスカイ太陽電池の県有施設への率先導入をはかる。
 ・ちばアクアラインマロン開催事業(5750万円)
 ・パラスポーツ振興事業(203万円、当初予算と合わせて8703万円)